

## 株式会社十勝毎日新聞社



北海道

情報通信業(映像・音声・文字情報制作業)

## 経営者の声

代表取締役社長

林 浩史さん

米国勤務の経験から、社会ルールの遵守は当然との考えがありますし、報道機関の使命としても社会的弱者が活躍できる場所を社会に広める役割があると思っています。それには自らの実体験として障害者を雇用する必要があります。障害のある従業員には現在、記事のデジタルデータ化の職務を担ってもらっています。この職務は定型的なものです。限定するものではないので、次のステップとして他部署への異動もあると思います。ただし、我々新聞業界は販売部数の減少という課題があって、雇用確保のためには生産性のアップを求められています。

障害者雇用のためには、障害者の方々を身近に感じることがすごく重要だと思います。彼らがどのように考えるのかをコミュニケーションを通じて理解し、皆が幸せになるための社会の実現、誰もが働くことが当たり前になるための取組が大切です。



## 職務内容と工夫

## 1 担当職務の設定(柳澤さん)

紙媒体などで保存されている過去の記事等をデジタルアーカイブ化する部門を設置。現在は障害のある社員5人を含む全7人体制で職務を担当している。職務内容は、当日紙面及び過去紙面のデジタルデータ入力と入力記事の整形。

広汎性発達障害のある柳澤基さんは、データ入力や写真の加工作業を主業務としている。柳澤さんの作業遂行スピードや正確さは優れており、職場で培った技能を競う「アビリンピック北海道大会」のパソコンデータ入力部門で最優秀賞を2度受賞した経歴もある。



## 2 担当職務を障害のある従業員とともに検討(Aさん)

発達障害のあるAさんは、営業マンとして在籍していた広告部門では時間管理が苦手で、渉外に苦勞することが重なったため、異動となり勤務している。異動に伴い正社員からパートタイム社員へと勤務形態の変更があったものの、Aさんの特性に合った職務内容について会社と話し合いを重ね検討した。

現在の職務はタイトな期限設定が少なく、顧客への対応もなくなったことからAさんにとって仕事をしやすい環境になっている。異動後1年半が経過し、社内報の編集やデータベースの作業を支援するプログラム作成など職務が拡大している。



## ポイント

- ① 担当する職務を本人も交えて検討・設定。職場定着と職域拡大につなげる
- ② 一人ひとりの特性に合わせ働きやすい職場環境を整備

### 3 一人ひとりの特性に合わせた職場環境を整備

柳澤さんは続けて集中することが難しかったため、職場ではクラシック音楽を流し、50分ごとと10分の休憩時間を設定することで、データ入力の精度と速度を保てるようになった。

Aさんは時間管理を苦手としていたが、Aさんが立てるスケジュールを担当の石田さんが確認し漏れが発生しないように声をかけることで、記憶を補完し適切な判断ができるようになっている。



その他、身体障害のある従業員の受け入れ時には、エレベーターに車いす用ボタンや障害者用トイレの引き戸を自動開閉に改修するなどの設備改善の他、温度・湿度に敏感な特性に対し、ヒーターの設置やエアコンの吹き出し口にダクトを取り付けて空調に配慮している。



#### 雇用管理・現場担当者の声



総務局人事部 副部長  
井上 朋一さん



デジタルメディア局デジタル編集部  
石田 静子さん

会社が障害者雇用に取り組んだ後に担当者となりました。障害のある従業員にとって働きにくい問題が発生した時々でできることをするという対応で、社内のシステムや制度づくりは後付けだと考えています。

現在は、創立100周年に向けた職務がメインですが、今後は労務や総務、庶務系の職務を作り出せると考えています。

#### 従業員の声

勤続5年目  
Aさん

現部署に異動になる前は悩みました。ただ、どんな選択が自分にとってより良いのか人事と話し合いながら決めています。現在、勤務時間内に対人関係に関する外部研修の受講を認めてもらっています。できる仕事から今以上の仕事をできるようになりたいです。

#### 活用した制度

トライアル雇用、障害者作業施設設置  
等助成金

#### 活用した 支援機関

ハローワーク、  
障害者就業・生活支援センター

労働条件等：1日7～8時間、週5日間勤務、パートタイム社員

## 法人データ

### 株式会社十勝毎日新聞社

- 所在地…………… 北海道帯広市
- 従業員数…………… 177人
- 障害者雇用者数… 5人
- 障害種別…………… 身体障害、知的障害、発達障害
- 事業内容…………… 日刊紙や地域誌の制作・販売

